

～横須賀市の学校教育～

輝け！よこすかの子どもたち

「人間性豊かな子ども」を育む

小学校児童陸上記録大会



地域貢献活動（久里浜地区美化活動）
（横須賀総合高校・定時制）



表現運動・ダンス発表会（野比東小）



創造ものづくりフェア～創造アイデアロボットコンテスト～
関東甲信越大会出場（長井中・北下浦中・衣笠中）



駅伝大会女子優勝（池上中）



駅伝大会男子優勝（大津中）

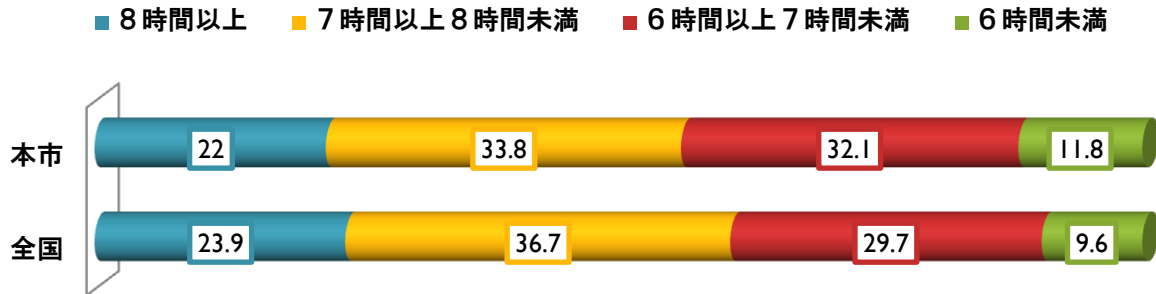


- P 1 ——— 早寝・早起き・朝ごはん ～生活習慣を見直そう！～
P 2 ——— 本市の中学生 3割近くが「スマホを1日に3時間以上」
P 3～4 —— 市立唯一の横須賀総合高校（全日制）
P 5～6 —— よこすかの子どもたちを守るために
 ～「横須賀市いじめ等の対策に関する条例」を定めました～
 ～ご存知ですか？ 横須賀子どもスタンダード～
P 7 ——— 本に親しむことで、子どもたちの豊かな心を育てます！

2014年12月
第6号



中学校3年生の1日の睡眠時間は？



上のグラフは、平成25年度全国学力・学習状況調査の本市中学校3年生の生徒質問紙調査「普段（月曜日から金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか」という設問の結果です。全国的にも、中学生の睡眠習慣については、課題となっていますが、本市でも、**4割以上の生徒が、7時間に満たない睡眠時間**であることは大きな課題です。

同じ調査の中で、「午後11時以降に就寝する生徒」が7割近くおり、睡眠時間の問題は、就寝時刻と起床時刻をあわせて、考えていかなければなりません。

平成18年度から推進されてきた「早寝・早起き・朝ごはん」の取組は、本市でも、その成果が少しずつ現れてきていますが、睡眠時間と同様に、まだまだ、規則正しい生活習慣が十分身に付いているとはいえません。

中学生は将来の社会的自立に向けた大切な時期であり、自らの生活を客観的に見つめ直し、自己管理していくことが重要です。しかし、生活圏の拡大や行動の多様化等により、生活リズムが乱れやすい環境にあります。生活習慣の乱れによる心身の不調は、さまざまな問題行動に発展する可能性も懸念されています。具体的には、次のページにあるような「スマートフォンをはじめとするネットとの接触時間の増加」により生活リズムの乱れやトラブルの増加を招いたり、「朝起きられないなど、生活リズムが乱れていたため」に不登校が継続されてしま

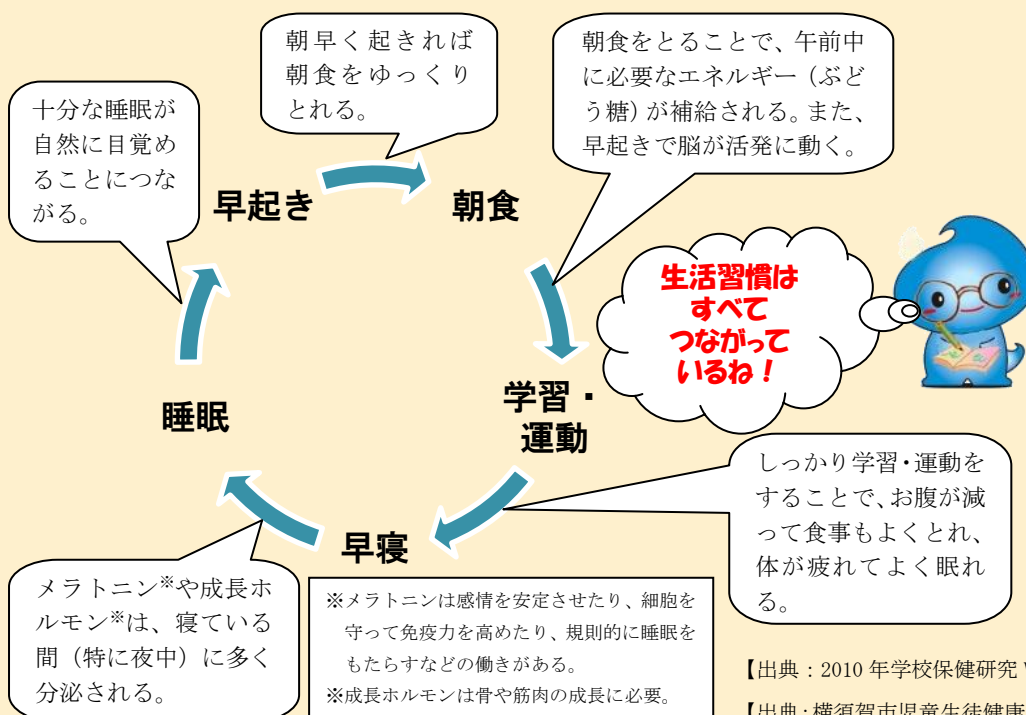
ったりすることなどがあげられます。

これは、中学生だけの問題ではなく、小学校高学年、場合によってはさらに低年齢からの取組が重要です。子どもたちの将来的な自立を考え、ぜひ、各家庭で、子どもたちの生活習慣について考えてください。

【出典：「中高生を中心とした子供の生活習慣づくりに関する検討委員会」における審議の整理】

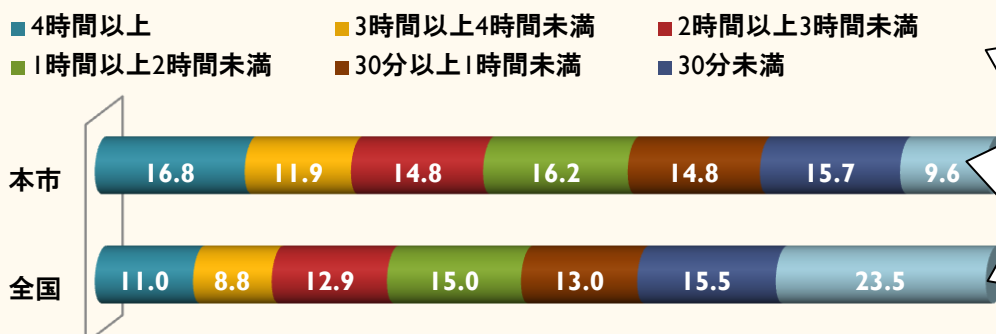
【出典：2010年学校保健研究 Vol. 52 No. 4】

【出典：横須賀市児童生徒健康体力向上推進委員会 生活習慣担当部会】



本市の中学生 3割近くが「スマホを1日に3時間以上」

平日の携帯電話やスマートフォンで通話やメール等をする時間



携帯電話やスマートフォンを買い与えるときが大切！中学生だけの問題ではない！

上のグラフは、平成26年度全国学力・学習状況調査の本市中学3年生の生徒質問紙調査の「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除きます）」という設問の結果です。1日に3時間以上すると回答している生徒が28.7%もいることがわかります。これは、全国との状況と比較しても大変多い割合です。また、同じ調査で、テレビやビデオの視聴時間やテレビゲームをする時間が、3時間以上であると回答した割合が、それぞれ40.2%（全国は31.5%）、26.4%（20.3%）であり、横須賀の子どもたちの生活の課題が見えてきます。

スマートフォンの利用時間が長いことから心配されること

①生活習慣の乱れ

長い時間ネットを利用している子どもたちは、夜型生活に陥りやすく、「朝食を食べない」「睡眠時間が短い」傾向にあることが指摘されています。また、機器から出される人工光の影響で睡眠のリズムが乱れるとも言われています。

利用のルールを決めていない子どもに、長時間利用の傾向がある。買い与える前に、家庭できちんとしたルールづくりを！

②学習への影響

本市の中学生は、「平日の学校外での学習時間が2時間以上（41.5%）30分未満（21%）」、「休日の学習時間が3時間以上（16.5%）1時間未満（38.5%）」と回答しており、学習している子どもとそうでない子どもの2極化が心配されます。

ネットの危険性やフィルタリングの有効性を理解しているのに利用率は低い！

③コミュニケーション力の低下やさまざまなトラブルに巻き込まれる心配が・・・

「直接だと言えないことも携帯電話やメールだと言える」とする小中学生が増えています。ラインやツイッターなどのコミュニケーションサイトの利用率も高く、それを通じたいじめや暴力、性被害のトラブルが急増しています。利用の仕方にも十分注意が必要です。

【出典：神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市「子どもたちのインターネット利用に係る実態調査結果」報告書】

横須賀市教育フォーラムを開催します

日時 平成27年1月24日（土）10:00～12:00

場所 横須賀総合高校（SEAホール、ラウンジC・D）

参加対象者 横須賀市民、市立学校園の保護者、学校関係者

内容 全体会（基調報告「横須賀の子どもたちをみんなの力をあわせて育てよう」）

分科会（①基本的生活習慣の確立 ②家庭学習のあり方 ③学校と地域の連携）

参加申込書を教育指導課のホームページからダウンロードしてね！

【検索】横須賀市教育フォーラム



市立唯一の横須賀総合高校（全日制）



創立 10 周年を記念して、生徒がつくったキャラクター。よーちゃん (Y)、そーちゃん (S)、はーちゃん (H) です。

総合学科ってなあに？

総合学科は、従来の普通科と職業学科を総合するような新たな学科として設置されました。共通教科（国語や数学等）と専門教科（工業、商業、福祉、情報等）の幅広い分野から自分で科目を選択し、将来の職業選択を視野に入れ、自己の進路を考えることを重視する学科です。

横須賀総合高校では、**8 系列**に分かれた 100 科目以上の選択科目を設置し、2・3 年次に、これらの中から生徒一人一人が自分で科目を選択していきます。1 年次に学習する「産業社会と人間」という授業の中で、次年度の科目選択や自分の将来について考えていきます。

工学系列



生活・福祉系列



芸術系列



情報系列



国際教育の充実



キニックハイスクールとの交流

開校以来「国際教育」に力を入れています！キニックハイスクール（米軍基地内の学校）の生徒が横総祭や総合高校の授業に参加したり、総合高校生がキニックの授業に参加したりして、年間を通じて交流しています。他にも、姉妹校であるオーストラリアのエラノラ高校に短期留学したり、アメリカやフランス、オーストラリア等に長期留学したりしています。また、エラノラ高校をはじめとして、海外の高校生が総合高校に留学に来ています。



今年度の
エラノラ高校への
短期留学生は
19 名

この他に自然科学、
体育・健康、ビジネス系列
があるよ

総合学科高校は、将来のことをじっくり考えたい人が進学するといい高校です。一人一人にあった進路指導が行われています。

キャリア教育の充実



1 年次「産業社会と人間」での社会人講話



1 年次の産業社会と人間、2・3 年次の羅針の授業では、代表が年次発表を行います。3 年次では、英語による発表もありました。

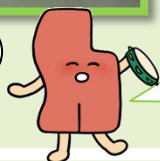


一人一人の自己実現のために

部活動の充実



テコンドー部は韓国遠征にも行っています。



毎年のように全国大会に出場している陸上競技部、アーチェリー部、美術部、ワープロ&検定部、コンピュータ部をはじめとして、37の運動部や文化部が活発に活動しています。部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により、自らの適性や興味・関心等をより深く追求していく機会であり、学習意欲の向上や責任感、連帯感が養われ、好ましい人間関係形成の場となっています。

全国から予選を勝ち抜いた20校の高校生が出場し、情報処理技術における優れたアイデアと表現力、プログラミング能力等を競い合う「パソコン甲子園」にコンピュータ部が出場しました。

学力向上の取組

「学ぶ集団づくり」のために創設された櫻倶楽部。真剣に勉強します。

櫻倶楽部での学習



サテライト授業



勉強合宿



進路を選択するにも、学力は欠かせません。各教科の職員室の隣には、ラーニングスペースがあり、すぐに先生に質問・相談することができます。図書室で自習する生徒も多くいます。また、さまざまな進路希望に対応するため、進学希望者を対象に勉強合宿を行ったり、予備校と提携し、サテライト授業を実施したりしています。

さまざまな学校行事

横 総 祭 (体育祭・文化祭)



8つのカラーに分かれて競う体育祭と、各学級の取組や部活動の発表の場となる文化祭が毎年行われます。



キニックの生徒と一緒にハイ・ポーズ！



ダンス部と吹奏楽部のステージ発表

シンガポールへの修学旅行

異文化理解とコミュニケーション力を高めることをねらいとして、2年次に行われる修学旅行。現地の大学生と交流します。



よこすかの子どもたちを守るために

「横須賀市いじめ等の対策に関する条例」を定めました

市は、いじめの防止、体罰の根絶と学校問題（学校運営に支障となる諸問題）の解決を図る対策を進めるため、平成 26 年 7 月 1 日に「いじめ等の対策に関する条例」を施行しました。横須賀の全ての子どもたちが明るい笑顔で楽しく充実した学校生活を送れることを目指します。

【学校の役割】

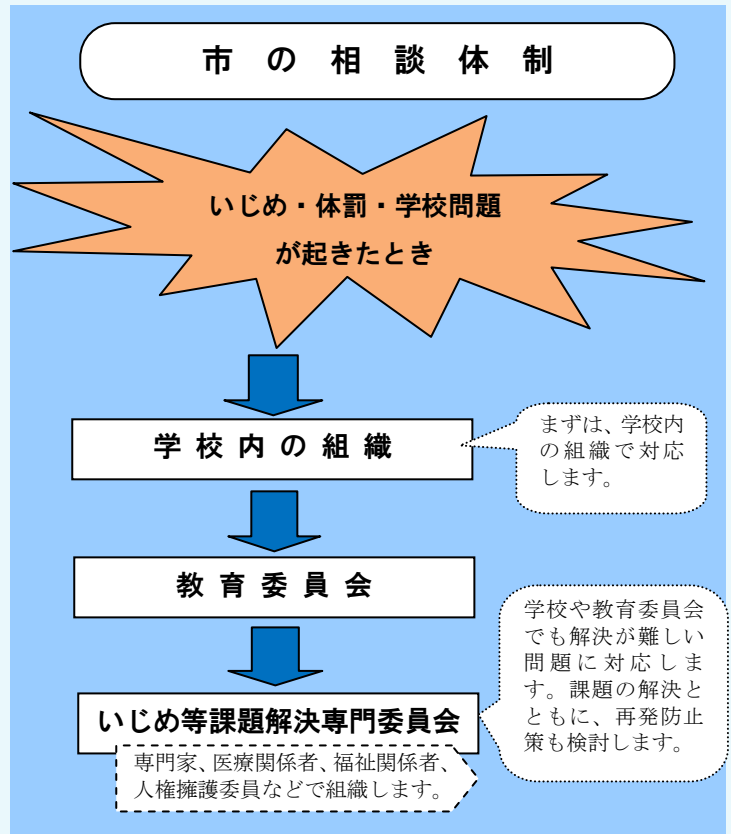
- ・いじめの防止、体罰の根絶、学校問題の解決に取り組めます。

【保護者の役割】

- ・いじめは絶対に許されないことを子どもに伝え、子どもを守ります。
- ・子どもの話しに耳を傾け、共に考えます。

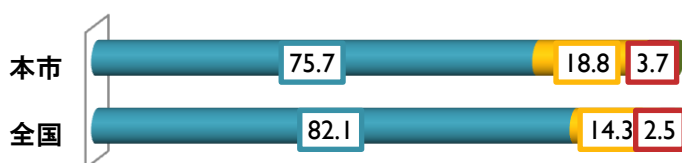
【市民の役割】

- ・地域で子どもを見守ります。
- ・いじめや体罰を見つけたときは、すぐに学校に知らせます。



いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない



〔平成 26 年度全国学力・学習状況調査 児童質問紙調査（小 6）より〕

この結果から、いじめに対する子どもの意識がまだまだ低いことがうかがえます。「いじめはどんな理由があっても決して許されるものでないこと」とともに、「こういう行為がいじめである」ということを大人が教えていく必要があります。

子どもたちのいじめに対する意識を大人が変えさせましょう！

いじめ等に関する相談先

まずは、学校に相談を！

学校の窓口

校長・教頭・担任
支援教育コーディネーター
ふれあい相談員（小学校）
登校支援相談員（中学校）
スクールカウンセラー等

教育委員会 相談窓口

受付日：月曜日～金曜日
（祝休日・年末年始は除く）
時間：午前 9 時から午後 5 時まで
支援教育課：822-8513

子どもの悩み相談ホットライン

受付日：月・水・金曜日
（祝休日・年末年始は除く）
時間：午前 9 時から午後 5 時まで
専用電話：822-6522
（匿名でもお受けします）

ご存知ですか？ 横須賀子どもスタンダード

1 命を大切にしよう

- ・自分自身を大切に、思いやりをもって人と関わり、お互いを認め合える子どもに育てましょう。

2 礼儀を身につけ、よりよい人間関係をつくろう

- ・あいさつはコミュニケーションのはじめの一歩です。また、美しく礼節のある言葉を使うことで、自分も他の人も傷つけることのない子どもに育てましょう。

3 学校・社会の基本的ルールを身につけよう

- ・学校のルールを守ることが、社会のルールを守ることにつながります。安全で安心して過ごせるような場を作るために、ルールを守る子どもに育てましょう。

4 学校生活に適した身だしなみにしよう

- ・学習の場に応じた安全で活動しやすい服装が整えられ、自分の健康や安全について考えられる子どもに育てましょう。

5 学習のルールを守り、すすんで学ぼう

- ・集中して学習に取り組むために授業の準備ができ、人の話を聞いて学べる子どもに育てましょう

文部科学省の児童生徒の問題行動調査によると、全国的な傾向として、非行の低年齢化やいじめ・不登校の増加があげられています。横須賀市教育委員会と横須賀市立小学校長会では、子どもたちが社会生活を送るうえで、身に付けておいてほしいこととして、「横須賀子どもスタンダード」を明文化しました。市内の小学校では、これを指針として、「学校生活のきまり」の見直しをしています。



あたりまえだからこそ、大切なことだね！

子どもたちを身の危険から守りましょう

服装や髪形、装飾品などについて「小学校の間ぐらいいは・・・」という声を聞くことがあります。肌を露出する派手な服装や、際立って目立つ髪形や髪の色でいると、性犯罪やゆすり・たかりなどの非行に巻き込まれる可能性が高くなると言われています。実際に横須賀でも小学生がこのような事件に巻き込まれ、被害に遭うことが起きています。子どもが自分で自分の身を守ることができるように、大人がしっかりと教えていきましょう。

子どもは、地域や社会の中で、大人の姿を見て育ちます。ルールを守る大人、あいさつをする大人、人に親切な大人、さまざまな姿から子どもは自分の姿をイメージしていきます。「ありがとう、おはよう、すみません」といった基本的なことから命の大切さまで、大人が見本となって、横須賀の子どもたちを育てていきましょう。

全国でも、小学生の女子児童が連れ去られる事件が起きています。

防止策として・・・

【子どもへの指導】

- ◇ 知らない人についていかない。
- ◇ 一人にならないようにする。
- ◇ 家を出るときは、家の人に次のことを言うようにする。

誰と、どこで、何をするか、
何時頃帰宅するか

- ◇ 怖いときや不安を感じたときには、大きな声で叫ぶ。
- ◇ 「子ども 110 番の家」に逃げ込む。

【地域でやっておきたいこと】

- ◇ 見守り活動をできる限り時間帯や場所を広げて、実施する。
- ◇ 子どもの様子で気になる場合（夕暮れ時、危険な遊び等）声かけをしよう。

本に親しむことで、子どもたちの豊かな心を育てます！

市では学校図書館の一層の活用に向けて、図書館の整備や図書館を活用した授業のサポート等のために、**図書館コーディネーター（学校司書）**や**図書館サポーター**を配置しています。

公郷小学校 図書館

新刊本の紹介

本で調べる楽しさを！

この本を借ります！

読書の楽しさだけでなく、本で調べることの楽しさも知ってもらえたらと思い、図書館クイズをはじめました。どの分類の棚に行けばいいのかわからない子どもには、調べ方をアドバイス。今では、百科事典も大活躍です。

ここを見て
ごらん！

学校図書館研究委託校の取組 ～長浦小学校～

「本のよさを知り、活用する子」の育成を目指して、研究に取り組んでいます。

公郷中学校 図書館

昼休みに、本の好きな生徒が読書をしたり、調べ学習をしたりしています。図書委員会の生徒が本の整理や貸出を担当。図書館サポーターが入ったことで、図書館がすっきり整備され、利用しやすくなりました。

《編集・発行責任者》 横須賀市教育委員会 教育総務部総務課 教育政策担当
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
TEL：046-822-9709（編集担当直通） FAX：046-822-6849
E-mail：sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp

◇この冊子についてのご意見や感想をお寄せください。お待ちしております。

